

一般社団法人環境放射能とその除染・中間貯蔵および  
環境再生のための学会（通称：環境放射能除染学会）

第12回定時社員総会

議事次第

令和8年1月22日（木） 12:30～13:20

於 日比谷コンベンションホール（日比谷図書文化館地下1階）

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 審議事項

第1号議案 令和7年度事業報告及び決算について

第2号議案 理事・監事の選任について

第3号議案 名誉会員の推薦について

4. 報告事項

第1号報告 令和8年度事業計画及び収支予算について

第2号報告 評議員の選任について

第3号報告 第15回研究発表会について

第4号報告 学会誌の電子化について

5. 閉会

（配布資料）

1. 資料 1-1 令和7年度事業報告書
2. 資料 1-2 令和7年度収支決算書
3. 資料 1-3 令和7年度貸借対照表および財産目録
4. 資料 1-4 令和7年度監事監査報告書
5. 資料 2 新役員案
6. 資料 3 名誉会員の推薦について
7. 資料 4-1 令和8年度事業計画書
8. 資料 4-2 令和8年度収支予算書
9. 資料 5 評議員の選任について
10. 資料 6 第15回研究発表会について
11. 資料 7 学会誌の電子化について

【第1号議案】令和7年度事業報告及び決算について  
(令和6年11月1日～令和7年10月31日)

令和7年度事業報告書

1. 登録会員数(令和7年10月6日現在)

個人会員	132名
学生会員	2名
法人会員A	33社
法人会員B	1社
公益会員	4社

2. 一般社団法人環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生のための学会 理事会及び総会  
以下の通り開催した。

(1) 令和7年度第1回通常理事会(第29回理事会)

日時: 令和6年(2024年)12月20日(金) 15:00~16:30

場所: イオンコンパス東京八重洲会議室 RoomD (オンライン参加有り)

■審議事項

- ・第1号議案 令和6年度事業報告及び会計報告について  
事務局より議案書のとおり報告が行われ承認された。
- ・第2号議案 理事の選任について  
任期途中で辞任する須藤理事と伊藤理事の後任候補としてそれぞれ小林氏、藤澤氏が推薦され、承認された。本件は次回総会の審議事項に上程する。
- ・第3号議案 業務執行理事の選任について  
事務局より峠副理事長と万福副理事長を業務執行理事に選任することが報告され承認された。
- ・第4号議案 定款の改定について  
事務局より電磁的方法で理事会の招集を可能とするため、定款第38条第3項に「又は電磁的方法」を追加することが報告され、承認された。本件は次回総会の審議事項に上程する。
- ・第5号議案 規程、規則の改定について  
事務局より規程、規則について学会正式名称の変更、用語の統一、現状に合わせるための変更を行うことが報告され、承認された。
- ・第6号議案 令和7年度定時社員総会の開催について  
議案書のとおり、令和6年度定時社員総会を次のとおり開催することが承認された。

日時: 令和7年(2025年)1月31日(金) 13:00~13:45

開催方法: 日比谷コンベンションホール

議題: 【審議事項】

- 第1号議案 令和6年度事業報告及び決算について
- 第2号議案 理事の選任について
- 第3号議案 定款の改定について

【報告事項】

- 第1号報告 令和7年度事業計画及び収支予算について
- 第2号報告 規程、規則の改定について
- 第3号報告 第14回研究発表会について

**■報告事項**

- ・第1号報告 学会賞等の公募について  
令和7年度学会表彰候補者の推薦募集を開始することが報告された。
- ・第2号報告 第21回講演会について  
講演会開催に向けて準備を始めていることが報告された。
- ・第3号報告 第14回環境放射能除染研究発表会について  
第14回環境放射能除染研究発表会の開催日時、場所が報告された。

**(2) 令和7年度定時社員総会（第11回）**

日時：令和7年（2025年）1月31日（金）13：00～13：45

場所：日比谷コンベンションホール

**■審議事項**

- ・第1号議案 令和6年度事業報告及び決算について  
事務局より事業報告書、収支計算書、貸借対照表および財産目録の報告が行われた後、小林監事より監事監査報告が行われ、質疑応答は無く、可決された。
- ・第2号議案 辞任に伴う理事の選任について  
事務局より任期途中で辞任する須藤理事と伊藤理事の後任を小林氏、藤澤氏とすることが報告され可決された。
- ・第3号議案 会費規程の改定について  
事務局より会費規程の改定について説明があり、可決された。変更内容は名称の変更、納入期限の変更（4月末日→12月末日）、改廃規定のついでの3点。
- ・第4号議案 定款の改定について  
事務局より電磁的方法で理事会の招集を可能とするため、定款第38条第3項に「又は電磁的方法」を追加することが報告され、承認された。

**■報告事項**

- ・第1号報告 令和7年度事業計画及び収支予算について
- ・第2号報告 規程、規則の改定について
- ・第3号報告 第14回研究発表会について

**(3) 令和7年度第2回通常理事会（第30回理事会）**

日時：令和7年（2025年）10月23日（木）10：00～11：13

場所：国立環境研究所循環・廃棄物研究棟3階会議室とインターネット会議の併用

**■審議事項**

- ・第1号議案 令和8年度事業計画および収支予算について  
事務局より議案書のとおり報告が行われ審議の結果承認された。

**■報告事項**

- ・第1号報告 第14回研究発表会の結果及び第15回研究発表会の予定について
- ・第2号報告 第14回研究発表会 優秀発表賞の表彰について
- ・第3号報告 令和8年度第1回通常理事会（第31回理事会）および定時社員総会の日程について
- ・第4号報告 理事長および副理事長の職務執行状況（事務局運営活動を含む）について

**3. 講演会活動****(1) 第21回講演会**

令和7年(2025年)1月31日(金)に、オンライン講演会形式で「中間貯蔵除去土壌等の減容・再生利用技術開発戦略目標から次のステップへ」をテーマに開催した。なお、今回も中間貯蔵・環境安全事業(株)(JESCO)と共同で進めている「減容化・再生利用と復興を考える知のネットワーク」との併催とした。

講演内容は次の通り。(敬称略)

(講演1) 福島県内除去土壌等の県外最終処分に向けた取組

大野皓史(環境省環境再生・資源循環局環境再生事業担当参事官室 参事官補佐)

(講演2) JESCOにおける県外最終処分に向けた技術開発の取組

今井啓祐(国立研究開発法人産業技術総合研究所)

(講演3) 中間貯蔵施設周辺復興地域の環境創生に向けた研究～推進費 SII-9～

遠藤和人(国立環境研究所福島地域協働研究拠点廃棄物・資源循環研究室 室長)

(講演4) 1F 固体廃棄物対策の現状と今後の課題

増田良一(東京電力ホールディングス株式会社福島第一廃炉推進カンパニー廃棄物対策プログラム部 処理・処分計画サブプログラムマネージャー)

(総合討議) 戦略目標の次のステップについて

座長: 大迫政浩(環境放射能除染学会理事長/国立研究開発法人国立環境研究所フェロー)

#### 4. 研究発表会

第14回は発表、展示等を現地で行い、口頭発表と企画セッションの音声・映像をZoomを利用してオンライン配信する方式で開催した。第14回研究発表会の開催状況は次の通り

##### ■開催概要

実行委員長: 佐藤理夫(会長、理事、福島大学名誉教授)

開催日: 令和7年(2025年)8月27日(水)、28日(木)

開催場所: パルセいいざか

- ・参加人数: 会場参加199名(第13回208名)、WEBのみ参加35名
- ・研究発表数等: 口頭発表: 31件、ポスター発表: 25件  
(第13回 口頭発表: 42件、ポスター発表: 28件)
- ・企画セッション: 2件
  - ① 環境再生と復興にむけて、次のステージへ
  - ② 減容化・再生利用と復興を考える知のネットワーク会合  
理解醸成活動 ～福島から全国へ～
- ・企業展示: 企業展示: 2件、企画展示: 15件、広告支援: 5件  
(第13回 企業展示: 4件、企画展示: 9件、広告支援: 5件)
- ・懇親会: 8月27日(水)、パルセいいざか、77名

#### 5. 表彰(学会表彰・優秀発表賞)

##### (1) 学会表彰

ホームページ、学会誌で学会賞・学術賞・技術賞・奨励賞・功労賞の推薦募集を行い、表彰委員会によって選定を行った。

《受賞者(敬称略)》

学会賞 万福 裕造(国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構)

学術賞 保高 徹生(国立研究開発法人産業技術総合研究所)

調査研究・技術開発賞(3件)

- ・株式会社三菱総合研究所、株式会社フソウ、国立研究開発法人産業技術総合研究所  
(代表：篠崎 剛史)
- ・カナデビア株式会社、太平洋セメント株式会社 (代表：市川 誠吾)
- ・株式会社ヴェオリアニュークリアソリューションズジャパン、株式会社 KK テクノ、  
大栄環境株式会社 (代表：酒井 和夫)

奨励賞 三成 映理子 (国立研究開発法人国立環境研究所)

功労賞 (3 件)

- ・安納 康栄 (中間貯蔵・環境安全事業株式会社)
- ・鈴木 一夫 (前 中間貯蔵・環境安全事業株式会社)
- ・原 利弘 (いであ株式会社)

第 14 回研究発表会開催記念式典の中で表彰式を行い、受賞者には賞状および副賞<福島県産木材を使った写真立て>を授与した。

## (2) 第 14 回研究発表会優秀発表賞表彰

第 14 回研究発表会において選考委員会を設置し、内規に則り最優秀口頭発表賞 1 件、優秀口頭発表賞 4 件、最優秀ポスター発表賞 1 件、優秀ポスター発表賞 4 件を選考した。

《受賞者 (敬称略)》

最優秀口頭発表賞	1 件	S2-05 竹下 健二(東京科学大学)他 4 名
優秀口頭発表賞	4 件	S3-06 山田 一夫(国立環境研究所)他 2 名 S4-04 大西 悟(国立環境研究所)他 7 名 S5-05 川瀬 里緒(長岡技術科学大学)他 1 名 S6-02 安河内 隆仁(北大)他 6 名
最優秀ポスター発表賞	1 件	P2-10 高田 モモ((産業技術総合研究所)他 3 名
優秀ポスター発表賞	4 件	P1-01 加藤 雅恵(京都大学大学院)他 3 名 P1-09 武田 理熙(北大)他 6 名 P1-10 田中 聖一朗(安藤ハザマ)他 3 名 P2-07 操上 広志(福島国際研究教育機構)他 6 名

## 6. ジャーナルの発行

本年度は、Vol.12,No.4 から Vol.13,No.2 までの 3 巻を発行した。

## 7. 対外協力

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構が作成・運用を行う、福島第一原子力発電所事故に関する情報検索システム「福島原子力事故関連情報アーカイブ (F N A A)」に第 14 回研究発表会要旨集の情報を提供し、公開予定。

また、「福島復興・廃炉推進に貢献する学協会連絡会」への参加を継続し情報の交流をしている。

中間貯蔵・環境安全事業株式会社と協力して、減容化・再生利用と復興を考える知のネットワークを構築し、活動を行っている。

## 8. 受託研究活動等

令和 7 年度は受託研究は実施しなかった。

以上

## 令和7年度 収支計算書

2024年11月1日から2025年10月31日

一般社団法人 環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生のための学会

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差額(決算-予算)	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 会費収入	6,892,500	6,738,000		
個人会員会費収入	1,107,000	1,107,000	0	
シニア会員会費収入	72,000	67,500	△ 4,500	
学生会員会費収入	13,500	13,500	0	
法人A会員会費収入	5,400,000	5,250,000	△ 150,000	
法人B会員会費収入	100,000	100,000	0	
公益会員会費収入	200,000	200,000	0	
② 事業収入	2,850,000	2,691,641		
研究発表会収入	2,500,000	1,924,000	△ 576,000	
講演会費収入	200,000	0	△ 200,000	開催せず
学会誌収入	150,000	20,000	△ 130,000	定期購読2社
既刊テキスト販売	0	0	0	
受託事業収入	0	747,641	747,641	
③ 雑収入	200,150	602,060		
研究発表会への助成金	200,000	580,000	380,000	第13、14回研究発表会助成
受取利息収入	150	22,060	21,910	
その他雑収入	0	0	0	
事業活動収入計	9,942,650	10,031,701	89,051	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出				
研究発表会支出	3,400,000	4,120,769	720,769	
講演会費支出	200,000	0	△ 200,000	開催せず
学会誌等刊行費支出	1,100,000	907,510	△ 192,490	V12N3、4、V13N1&2、合計4号分
部会活動費支出	0	0	0	
受託事業支出	0	749,980	749,980	
記念事業費	110,000	94,075	△ 15,925	表彰関係
② 管理費支出				
人件費支出	3,000,000	3,639,309	639,309	
法定福利費	550,000	762,278	212,278	
福利厚生費支出	10,000	15,593	5,593	
ホームページ運営費支出	400,000	396,000	△ 4,000	
会議費支出	150,000	223,684	73,684	
旅費交通費支出	250,000	178,902	△ 71,098	
通信・運搬費支出	350,000	412,694	62,694	
消耗品費	300,000	288,903	△ 11,097	
備品費	0	0	0	
事務所費支出	550,000	557,299	7,299	水/光熱費・家賃・駐車場
支払手数料支出	300,000	297,365	△ 2,635	カード決済システム、税理士、司法書士、家賃保証等
業務委託費支出	0	0	0	
雑支出	0	0	0	
新聞図書費	0	0	0	
リース料	100,000	95,759	△ 4,241	
租税公課	10,000	10,890	890	登録免許税、印紙税等
保険料	8,000	15,220	7,220	火災保険
交際費	10,000	0	△ 10,000	
事業活動支出計	10,798,000	12,766,230	1,968,230	
事業活動収支差額	△ 855,350	△ 2,734,529	△ 1,879,179	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入	0	0	0	
2. 投資活動支出	0	0	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	
2. 財務活動支出	0	0	0	
IV 予備費支出	0	0	0	
V 収支差額				
当期収支差額	△ 855,350	△ 2,734,529	△ 1,879,179	
前期繰越収支差額	15,643,130	15,643,130	0	
次期繰越収支差額 *	14,787,780	12,908,601	△ 1,879,179	

\*安定化資金5,000,000円を含む

## 貸借対照表

2025年10月31日現在

一般社団法人 環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生のための学会

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
(流動資産の部)		(流動負債)	
現金	196,399	未払金	7,244
普通預金	12,368,483	未払費用	300,580
郵便貯金	544,013	預り金	12,470
		預り金	
流動資産合計	13,108,895	流動負債合計	320,294
(固定資産)		(正味財産の部)	
敷金	120,000	一般正味財産	12,908,601
固定資産合計	120,000	正味財産合計	12,908,601
資産合計	13,228,895	負債及び正味財産合計	13,228,895

## 財産目録

2025年10月31日現在

一般社団法人 環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生のための学会

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的	金額
(流動資産)				
現金	現金	つくば事務所保管	運転資金として	196,399
普通預金	普通預金	普通預金 三井住友銀行つくば支店	運転資金として	12,368,483
郵便貯金	郵便貯金	普通貯金 ゆうちょ銀行	運転資金として	544,013
前払費用	前払費用			0
未収入金	未収入金			0
流動資産合計				13,108,895
(固定資産)				
その他固定資産	敷金	つくば事務所	事務所敷金	120,000
固定資産合計				120,000
資産合計				13,228,895
(流動負債)				
未払金	未払金			7,244
未払費用	未払費用			300,580
預り金	預り金			12,470
流動負債合計				320,294
負債合計				320,294
正味財産				12,908,601

## 令和7年度監事監査報告書

令和7年12月2日  
一般社団法人 環境放射能とその除染・  
中間貯蔵および環境再生のための学会

監事

山本 収三



監事

小林 正明



1. 帳簿ならびに関係書類の閲覧など必要事項と思われる監査手法を用いて  
計算書類の正確性を検討した結果、貸借対照表・財産目録・収支計算書は  
会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況および財政状況を正しく  
示しているものと認める。
2. 事業報告については、事業報告書の内容は真実であると認める。

一般社団法人環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生のための学会  
新役員候補

## 理事

1	秋山 庸子	大阪大学	理事
2	伊東 孝郎	カナデビア (株)	理事
3	遠藤 和人	(国研) 国立環境研究所	理事
4	大迫 政浩	(国研) 国立環境研究所	理事
5	小沢 明正	鹿島建設 (株)	理事
6	勝見 武	京都大学	理事 (新任)
7	鎌形 浩史	中間貯蔵・環境安全事業 (株)	理事
8	川合 康太	(株) 三菱総合研究所	理事 (新任)
9	川瀬 啓一	(国研) 日本原子力研究開発機構	理事
10	木川田 一弥	安藤ハザマ	理事
11	小林 秀司	(一社) 日本環境測定分析協会	理事
12	三倉 通孝	東芝エネルギーシステムズ (株)	理事
13	佐藤 理夫	福島大学	理事
14	島田 洋子	京都大学	理事
15	鈴木 務	太平洋セメント (株)	理事
16	多田 光宏	JFEエンジニアリング (株)	理事
17	土田 充	清水建設 (株)	理事 (新任)
18	峠 和男	(株) EFAラボラトリーズ	理事
19	永山 貴志	(株) クボタ	理事
20	納多 勝	(株) 大林組	理事
21	長谷川 亮	(株) 環境管理センター	理事 (新任)
22	藤澤 善之	いであ (株)	理事
23	二見 賢一	水ing (株)	理事
24	丸山 能生	(一社) 環境放射能除染学会	理事 (新任)
25	万福 裕造	(国研) 農業・食品産業技術総合研究機構	理事
26	保高 徹生	(国研) 産業技術総合研究所	理事
27	山本 達生	前田建設工業 (株)	理事

## 監事

1	小林 正明	(一財) 環境イノベーション情報機構	監事
2	押野 嘉雄	(株) エックス都市研究所	監事 (新任)

## 【第 3 号議案】

## 名誉会員の推薦について

## ■候補者

氏名 田畑 日出男 様  
会員種別 (会員番号) : 個人会員 (0011)  
所属 いであ株式会社 代表取締役会長  
連絡先 〒154-0012 東京都世田谷区駒沢三丁目 15 番 1 号

## ■推薦理由

当学会における略歴

- ・平成 24 年 (2012 年) 11 月～平成 30 年 (2018 年) 1 月 理事、副理事長
- ・平成 30 年 (2018 年) 1 月～現在まで 顧問
- ・平成 30 年 (2018 年) 7 月 学会賞受賞 (第 7 回環境放射能除染研究発表会にて)

貢献等

当学会の発起人として学会の発足準備に奔走し、発足後は副理事長として 6 年間にわたり運営を指導・支援してきた。

第 1 回研究発表会から第 6 回まで運営副委員長として助言指導・支援活動を行った。また所属会社の「いであ株式会社」から多数の運営支援者を提供していただいた。

平成 30 年 1 月からは顧問として学会運営全般について適宜ご指導をいただいた。

これらの長年にわたる当学会への貢献は高く評価されるものであり、ここに名誉会員に推薦する。

令和 7 年 (2025 年) 12 月 17 日  
理事会

## ■参考規程等：

- ・定款第 7 条 (種別)
- (6) 名誉会員 当法人に功労のあった者又は学識経験者で社員総会において推薦された者

【第 1 号報告】 令和 8 年度事業計画及び収支予算について  
(2025 年 11 月 1 日～2026 年 10 月 31 日)

令和 8 年度事業計画書 (案)

1. 登録会員数について

学会の発展と安定的な運営に資するため、会員の増加を目指す。

令和 7 年 10 月 6 日現在の会員数は次のとおり。( )内は前年度

個人会員： 134 (155) 名 (学生会員 2 (3) 名含む)

法人会員 A： 33 (36) 社

法人会員 B： 1 (1) 社

公益会員： 4 (3) 社

この数を上まわる会員数目標を達成するため、会員の要請に応える事業展開をするとともに、広く関係機関に広報活動を行う。特に研究発表会等では学生や若手研究者が参加しやすい内容、運営を目指す。

2. 定時社員総会及び定例理事会

・第 1 回通常理事会

日時 令和 7 年 12 月 17 日 (水) 16 時 (予定)

場所 イオンコンパス八重洲会議室

議事 令和 7 年度事業報告及び決算について

理事・監事・評議員の選任について

定時社員総会の日程及び議題について 等

・定時社員総会

日時 令和 8 年 1 月 22 日 (木) 13 時 (予定)

場所 日比谷コンベンションホール

議事 令和 7 年度事業報告及び決算等について

理事・監事・評議員の選任について 等

・第 2 回通常理事会

日時 令和 8 年 10 月頃

議事 令和 9 年度事業計画及び収支予算について 等

3. 講演会

年 1 回程度、講演会を開催する。令和 8 年度は関西地域での開催も検討する。講演会は研究活動や共同研究事業との連携を図りつつ行うよう努める。

・第 22 回講演会

令和 8 年度定時社員総会に併設して実施予定

日 時：令和 8 年 1 月 22 日 (木) 午後

場 所：日比谷コンベンションホール (予定)

テーマ：未定

#### 4. 研究発表会

第 15 回研究発表会を茨城県つくば市で開催の予定。

日 時：研究発表：令和 8 年 8 月 26 日（水）、27 日（木）、  
併設エクスカージョン：8 月 28 日（金）

場 所：産業技術総合研究所（予定）

※現地対面開催を原則とする

※実行委員の募集を 10 月末から開始する予定

#### 5. ジャーナルの発行

学会誌の発行については年 4 回を予定。投稿論文の増加、特集・解説記事等の掲載など魅力のある学会誌づくりに努める。

令和 8 年度は 7 年度から検討を始めた学会誌の電子化について具体的な検討に取り組む。

#### 6. 研究活動等

現時点で受託研究の予定は無い。

#### 7. 関係機関との協力

中間貯蔵・環境安全事業株式会社との「連携・協力に関する協定」に基づき、共同研究の実施、「知のネットワーク」の運営等、連携・協力を進める。

また、国立環境研究所等との情報交流の強化を図るとともに、関連の企業、NPO 等との情報交流に努める。

#### 8. その他

- ・会員への情報発信の強化に努める。
- ・ホームページの改善等を含め、広報の強化に努める。
- ・研究発表会、講演会等は学生、若手研究者が参加しやすい内容や運営を目指す。

以上

一般社団法人 環境放射能とその除染・中間貯蔵及び環境再生のための学会

## 令和8年度 収支予算書(案)

2025年11月1日から2026年10月31日

単位:円

科 目	令和8年度予算	令和7年度予算	<参考> 令和7年度実績(暫定)
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
① 会費収入	6,684,000	6,892,500	6,738,000
個人会員会費収入	1,053,000	1,107,000	1,107,000
シニア会員会費収入	72,000	72,000	67,500
学生会員会費収入	9,000	13,500	13,500
法人A会員会費収入	5,250,000	5,400,000	5,250,000
法人B会員会費収入	100,000	100,000	100,000
公益会員会費収入	200,000	200,000	200,000
② 事業収入	2,120,000	2,850,000	2,690,641
研究発表会収入	2,100,000	2,500,000	1,923,000
講演会参加費収入	0	200,000	0
学会誌収入	20,000	150,000	20,000
既刊テキスト販売	0	0	0
受託事業収入	0	0	747,641
③ 雑収入	150,150	200,150	502,060
研究発表会への助成金	150,000	200,000	480,000
受取利息収入	150	150	22,060
その他雑収入	0	0	0
事業活動収入計	8,954,150	9,942,650	9,930,701
2. 事業活動収支の部			
① 事業費支出			
研究発表会支出	3,100,000	3,400,000	4,109,224
講演会費支出	200,000	200,000	0
学会誌等刊行費支出	1,100,000	1,100,000	907,510
受託事業支出	0	0	749,980
記念事業費	110,000	110,000	94,075
② 管理費支出			
人件費支出	3,000,000	3,000,000	3,271,818
法定福利費	700,000	550,000	705,140
福利厚生費支出	15,000	10,000	15,593
ホームページ管理・維持費支出	400,000	400,000	396,000
会議費支出	150,000	150,000	179,314
旅費交通費支出	200,000	250,000	164,452
通信・運搬費	350,000	350,000	387,656
消耗品費	300,000	300,000	277,008
備品費	0	0	0
事務所費支出	550,000	550,000	511,171
支払手数料支出	300,000	300,000	277,008
業務委託費支出	0	0	0
リース料	100,000	100,000	87,791
租税公課	10,000	10,000	10,890
保険料	15,000	8,000	15,220
交際費	10,000	10,000	0
事業活動支出計	10,610,000	10,798,000	12,159,850
事業活動収支差額	-1,655,850	-855,350	-2,229,149
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
2. 投資活動支出			
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
2. 財務活動支出			
IV 予備費支出	0	0	0
V 正味財産期初残高			
当期収支差額	-1,655,850	-855,350	-2,229,149
前期繰越収支差額	18,167,080	20,676,743	20,396,229
次期繰越収支差額 *	16,511,230	20,814,743	18,167,080

\* 安定化基金5,000,000円を含む

## 一般社団法人 環境放射能除染学会 評議員（案）

令和8年度（2026年度）～令和9年度（2027年度）

番号	氏名	所属	
1	井上 正	（一財）電力中央研究所	留任
2	大越 実	（公社）日本アイソトープ協会	留任
3	甲斐 倫明	日本文理大学	留任
4	日下 英史	京都大学	留任
5	倉持 秀敏	（国研）国立環境研究所	（新任）
6	崎田 裕子	ジャーナリスト・環境カウンセラー	留任
7	佐藤 努	北海道大学	留任
8	杉山 大輔	（一財）電力中央研究所	留任
9	高岡 昌輝	京都大学	留任
10	竹下 健二	東京科学大学	留任
11	松村 徹	（一社）日本環境測定分析協会／いであ（株）	留任
12	林 誠二	（国研）国立環境研究所／福島国際研究教育機構	留任
13	原田 茂樹	福島大学	留任
14	日笠山 徹巳	（株）大林組	留任
15	宮脇 健太郎	明星大学	留任
16	村上 道夫	大阪大学	（新任）
17	森口 祐一	（国研）国立環境研究所	留任
18	森 朋子	立教大学	（新任）



## 【第 4 号報告】

### 学会誌の電子化について (J-STAGE 移行)

#### 1. 基本方針

- ・学会誌は冊子体を廃止し、電子化して「論文」と「学会記事」を分離する
- ・論文は J-STAGE で電子ジャーナル化し、学会記事は会員宛にメール配布する
- ・会員の利便性向上と論文投稿・査読・編集業務の属人化の解消、事務局負担軽減を目指す

#### 2. 公開・運用業者

- ・Atlas 社のジャーナル公開支援サービス（論文投稿・審査システム、出版工程管理システム）を導入する予定
- ・既に当学会ホームページと会員管理に Atlas 社を利用しているため、利便性・費用面から Atlas 社が最も適していると判断

#### 3. 費用概算

- ・初期費用：約 140 万円
- ・2 年目以降（年 10 本想定）：約 33.9 万円／年
- ・現行の冊子体発行（年間約 100 万円）と比較し、2～3 年目で回収可能

#### 4. 今後のスケジュール（目安）

- ・投稿規程・編集規程等の改訂案作成 → 編集委員会で審議
- ・既刊の 1～13 巻分を掲載し、以降は投稿毎掲載
- ・2026 年春以降（第 14 巻相当）から本格移行を目標とする

以上

学会誌編集事務局